北陸新幹線
フリーゲージトレインの導入が見送りに

「21世紀の鉄道を考える議員フォーラム」など関係各議員のご協力により
国交省が計画を白紙撤回　ＪＲ西労組の訴え実現！

27日に開催された与党の整備新幹線建設推進PTにおいて、国土交通省は「北陸新幹線へのフリーゲージトレイン（ＦＧＴ）導入を断念する」と報告し、北陸新幹線へのＦＧＴ導入は、事実上白紙となった。

北陸新幹線へのＦＧＴ導入について、当初は、敦賀～大阪間が開通するまでの間、乗り換え無しで大阪まで移動できることから、実現が期待されていた。

ところが、２０１４年に車軸の不具合が発生して以降、実用化の見込みが立たず、ＪＲ西労組としては北陸新幹線へのＦＧＴ導入について、断念するよう繰り返し求めてきた。

また、ＪＲ連合とも連携し、**「交通重点政策２０１７－２０１８」**にも**「北陸新幹線へのＦＧＴの導入については断念することが望ましい」**と明記するとともに、ＪＲ西労組が推薦する**「21世紀の鉄道を考える議員フォーラム」所属議員**の皆様との勉強会や、**石井国土交通大臣**への要請行動、**国土交通省**との勉強会において、ＪＲ連合・ＪＲ西労組の考えを説明してきた。

「21世紀の鉄道を考える議員フォーラム」

国土交通省との勉強会

石井国土交通大臣への要請行動

今回のＦＧＴ白紙化により、敦賀駅での在来線との乗り換えが必要となる。

今後は、**フル規格による敦賀－新大阪間の早期開業、ＪＲ運行主体による湖西線の存続**を求めていく。

現在の案では、国の財源が限られているために、北海道新幹線が札幌まで開通した後の２０３１年に着工、２０４６年頃完成の見通しであるが、**より早期に全線開通させることが必要**である。

組合員の皆様の積極的な関与・ご協力を要請する！

フル規格による、敦賀－新大阪間の早期開業を！

米子地方本部

米子地方本部

8月25日、米子文化ホールで開催された米子地本第28回定期大会には、１７０名が集まり、廣澤委員長は挨拶の冒頭で西日本豪雨に触れた。

質疑では、安全や春闘、業務や地域活性化、さらには政治についてなど、12名の代議員から幅広く発言があり、大川書記長の集約答弁の後、満場一致で方針を決定した。

本社総支部

本社総支部

本社総支部は、北梅田研修センターにおいて、8月26日に第26回定期大会を開催し、１１０名が集まった。

早稲田委員長による挨拶の後、質疑では、働き方改革、新幹線重大インシデント、大規模プロジェクト、大阪鉄道病院などに関わる諸課題について、17名の代議員から発言があった。

役員選出では、長年にわたり様々な課題解決に奔走した早稲田委員長が勇退し、新たに橋口委員長が選出された。

執行委員長　橋口　広喜　**（新任）**
副執行委員長　枡田　哲也　（再任）
書記長　蒲　浩志　（再任）

西日本JRバス地方本部

西日本ＪＲバス地方本部

西バス地本は、大阪リバーサイドホテルにおいて、8月28日に第28回定期大会を開催した。会場には代議員・傍聴含め約１００名が参加し、冒頭、西原委員長から豪雨災害に伴うバス代行の完遂、安全、春闘、組織などについて挨拶があった。

その後10名の代議員から、要員不足、働き方改革、組織の課題などについて発言があり、真摯で積極的な質疑が行われた。

和歌山地方本部

和歌山地方本部

和歌山地本は、8月31日に第29回定期大会を開催し、会場のＪＡビルには１００名が集結した。宇田委員長は挨拶の中で、安全、組織、業務などについて力強い提起を行った。

その後、10名の代議員から、業務課題や働き方改革と要員問題等について、真摯で積極的な討議が行われた。

新幹線協議会

新幹線協議会

新幹線協議会は、福岡センタービルにおいて、第12回定期総会を、約80名の参加で開催した。冒頭、竹本議長より、新幹線重大インシデントをはじめとする安全問題、業務課題等に対する問題提起があった。

その後、12名の委員から、新幹線の安全問題を中心に、働き方改革や各種施策の検証などについて発言があった。

役員改選では、竹本議長が勇退し、新たに米村議長が選出された。

議　長　米村　弘隆　**（新任）**
副議長　森本　勝広　（再任）
副議長　吉岡　真司　（再任）
副議長　福田　勝巳　（再任）
副議長　小坂　岳志　（再任）
副議長　守田　丸平　（再任）
副議長　川西恵太郎　（再任）
副議長　斎野　佑介　（再任）
事務局長　髙橋　良樹　**（新任）**

中バス地本の定期大会は、9月3日に予定されていたが、西日本豪雨によるバス代行のため、延期となっている。

JR九州労組から義援金

8月19日、JR九州労組の中原中央執行委員長から、西日本豪雨災害に対する義援金をいただきました。

JR九州も、昨年7月の九州北部豪雨において大きな被害を受けている中、温かいお気持ちを頂いたことに、感謝申し上げます。

JR九州労組の中原中央執行委員長より激励のメッセージを頂戴しています。

JR西労組の皆さんへ！

6月の大阪北部地震・7月の西日本豪雨は、広範囲に亘って甚大な被害をもたらす大災害となりました。お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りするとともに、被災された方々に心よりお見舞いを申し上げます。

今回の災害では、鉄道や道路など交通インフラに大きな被害が生じ、通勤・通学等の人流をはじめ、貨物輸送など物流にも多大な影響が出ています。改めて公共交通の果たすべき役割と必要性を実感しています。

こうした中、被災した線路等の復旧作業に猛暑の中、懸命に頑張っておられる西労組組合員の皆さまに敬意と感謝を申し上げます。

また、一昨年の熊本地震の際には、JR西労組の皆さまから温かいご支援を頂きましたことに対して改めて御礼申し上げます。

私たちJR九州労組は、今回の災害からの一日も早い復旧・復興を願うとともに、JR西労組の一層の団結が図られることを祈念申し上げます。

頑張れ日本!! 負けるな西日本！

JR九州労組　中央執行委員長　中原博徳

救援カンパも実施中！ 労働組合の助け合いの精神を！

こたえ　1.みやぎ県（見、やぎ）　2.こだま　3.本